

4.4 常時微動観測に基づくサイト増幅特性の 評価	1783	6.2.2 分析項目及び分析方法	1832
4.5 常時微動観測によるサイト増幅特性の ゾーニング	1786	6.2.3 評価	1834
4.6 常時微動観測結果の港湾計画への応用	1788	6.3 底質調査	1836
5 構造・材料の調査・試験に係る一般的事項	1789	6.3.1 底質環境の特徴.....	1836
5.1 総説	1789	6.3.2 分析項目及び分析方法	1837
5.1.1 施設整備における材料試験・調査	1789	6.3.3 特殊な調査	1839
5.1.2 改良設計時における材料試験・調査	1789	6.3.4 評価	1840
5.1.3 外国産の材料の試験・検査	1790	6.4 生物調査	1840
5.2 鋼材	1790	6.4.1 沿岸の生物の特徴	1840
5.2.1 材料品質に関する試験	1790	6.4.2 分析項目と分析方法	1843
5.2.2 鋼材の腐食	1791	6.4.3 評価	1845
5.2.3 鋼材の防食	1791	第2章 大規模地震・津波後の調査・試験	1850
5.3 コンクリートの試験	1792	1 総論	1850
5.4 アスファルト材料	1797	1.1 本章の位置づけ	1850
5.4.1 一般	1797	1.2 本章の構成	1850
5.4.2 アスファルトマット、サンドマス チックに関する試験方法	1798	2 大規模地震・津波後の調査.....	1851
5.4.3 舗装用アスファルト材料に関する 試験方法	1803	2.1 調査の全体手順	1851
5.5 石材	1803	2.2 基本情報の事前整理・準備	1851
5.5.1 石材の試験	1803	2.3 初期調査(全体)	1852
5.5.2 採石地における調査・試験	1810	2.4 港湾の利用可否の判定調査(初期調査)	1854
5.6 木材	1811	2.4.1 係留施設の利用可否の判定調査	1854
5.6.1 木材の試験	1811	2.4.2 航路・泊地の利用可否の判定調査	1858
5.7 防舷材	1811	2.5 緊急復旧調査	1859
5.7.1 防舷材に関する試験	1811	2.6 本格復旧調査	1859
5.7.2 試験の種類	1811	3 大規模地震・津波後における港湾管理用基準面 の再設定	1863
5.7.3 物理試験	1811	3.1 2011年東日本大震災時の対応と新たな 測位技術	1863
5.7.4 静的圧縮試験	1812	3.1.1 被災状況	1863
5.7.5 耐久性試験	1813	3.1.2 緊急復旧に向けた課題	1863
6 環境に係る観測及び調査	1816	3.1.3 新たなGNSS測位技術(PPP-AR方式) と地震後の活用方法	1863
6.1 環境調査の考え方	1816	3.2 港湾管理用基準面の緊急設定	1864
6.1.1 目的	1816	3.2.1 基本手順	1864
6.1.2 調査の流れ	1816	3.2.2 量水標観測及び推算潮位を用いた仮の 港湾管理用基準面の設定方法	1865
6.1.3 現地踏査	1817	3.3 本格復旧工事に向けた港湾管理用基準面の 再設定	1867
6.1.4 調査計画の立案	1817	3.3.1 臨時の潮位観測をするための簡易的な 観測手法	1867
6.1.5 調査データの解釈・評価	1821	4 大規模地震・津波後の調査手法	1869
6.1.6 基準値一覧	1824	4.1 総説	1869
6.2 水質調査	1831	4.2 被害状況の全体把握	1869
6.2.1 水質環境の特徴	1831	4.2.1 総説	1869